

事業所名

こどもセラピーnYokki

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7年

1月

15日

法人(事業所)理念	生活しやすく、生きやすく、人が笑顔になる人生mapを創造する		
支援方針	自分で「決める力」・「解決していく力」・「主体的に生きる力」を育む		
営業時間	8時	30分から	17時30分まで
	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	個別指導のスペースは別室で行ったり、仕切りで区切り、本人が集中できるよう、構造化などによる生活環境の調整を行っています。ストレス発散や余暇活動の一環として娯楽のプログラム内容も選択できるようにしています。帰る前には必ず、片付け→掃除→荷物チェックの時間を設けて自己管理や時間管理の習慣化を促します。 【主なプログラム】：体温チェック、IADL動作(身だしなみ・片づけ・持ち物管理・買い物・掃除・調理活動etc) トレーニング、宿題、ボクシング、カラオケetc	
	運動・感覚	感覚統合の遊具を用いて、効果的に運動・感覚刺激の入力を促します。また、全身の発達を促すため、1対1の個別活動でBabyマッサージを行います。音声過敏のお子さんにはイヤーマフ、固有感覚が鈍いお子さんにはデスクシートの使用など、感覚の特性に応じた対応を行います。近隣の公園を活用し、サッカーやドッジボール、バレーボール、鬼ごっこなどの遊びを通して運動能力の発達を促します。 【主なプログラム】：スイング、トランポリン、ハンモック、ボルダリング、マット運動、リズム運動、体幹トレーニング、背中文字あてetc	
	認知・行動	活動のスケジュールは自分で考え、1人1人、自分のスケジュールボードを完成させて活動を行います。(選択→決定→実行を支援します) ※書字が難しい場合は絵カードで選択します。お子さんが選んだ活動の遂行を通じてスキルを獲得して、co-opの理論に基づいて支援を行います。発達段階ごとのグループに分かれた小集団活動と1対1の個別活動を組み合わせます。 【主なプログラム】：活動ボード作成、2人でパントマイム動作合わせ、パズル、マッチング、ジェスチャーゲーム、ルービックキューブetc	
	言語コミュニケーション	言語発達の課題別に小集団活動と1対1の個別活動を組み合わせます。また、発話が難しいお子さんには絵カードを用いて要求表出を促します。発音や口腔内の発達を促すため、1対1の個別活動で口腔マッサージを行います。また、鏡を用いて自主でできるメニューも取り入れています。出来事や思いを伝えるなど、話を組み立てる力や、読み書きに必要な視線や音韻トレーニングなど、必要に応じて行います。 【主なプログラム】：発音トレーニング、口腔マッサージ、あいうべ体操、しりとり、カルタ、ビジョントレーニングetc	
	人間関係社会性	お子さんの行動に対して、職員全員、ABAの理論に基づいて共通認識を図り、一貫性のある対応を行います。また、「どうすれば良いのか」「お友達はどんな気持ちだったのか」など、本人と一緒に考え、次の行動を促していきます。その他、SSTを通じて、場面に合わせたことば使いや、お友達への適切な関わり方などの支援を行います。 【主なプログラム】：ボードゲーム、ジェンガー、トランプ、はあゲーム、ポーリング、課外活動etc	
家族支援	毎月の家族支援(面談)、LINEでの随時相談 上記以外にも、送迎の際などにも情報共有を図っています	移行支援	必要に応じて関係機関への情報提供、相談、助言を行っています
地域支援・地域連携	保育所等訪問支援、関係機関連携を行っています	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人職員研修</li> <li>・施設全体研修(1回/年)</li> <li>・個人研修(1回/月)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得研修</li> <li>・外部研修</li> </ul>
主な行事等	主に活動の中で季節の行事等を組んでいます。(子どもの節句・七夕・ハロウィン・クリスマス・鏡開き・節分・ひな祭りetc) 長期休暇の際には、調理活動や課外活動を多く取り入れ、郷土の歴史や文化、その他、様々な体験や経験ができる機会を設けています。		